学校番号	１０１２

令和８年度　看護科

教科	看護	科目	（学）看護講座	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年基礎看護で学んだことを基にして、より看護の専門領域に近い範囲の実習を中心とした授業を行います。２年基礎看護同様、看護師役・患者役に分かれて体験し、体験してみないとわからない感覚を考察し、今後の看護活動に活かしていきます。実習には積極的に参加し、多くの気づきを得られるようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
看護の意義や看護師の役割に興味を持ち、その基礎となるコミュニケーション力を身に付ける。また、看護に必要な基礎的な知識と技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
相手のことを考えた看護活動が行えるようになる。そのために実習を通じて患者の気持ちを理解することができる。また実習記録の作成を通じて文章での表現力を高めることができる。

【学びに向かう力、人間性等】
看護職を目指すにあたり、ひとつひとつの看護技術について、興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていくことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎看護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、看護の意義と保健・医療・福祉における看護の意義や役割を理解している。日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的・基本的な技術を身につて、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して看護活動を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割について関心をもち、看護の改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	食生活の援助・排泄の援助	・食事の意義、影響を及ぼす因子を知り、その援助方法を学ぶ。 実習：食事介助 ・口腔の清潔の意義を知り、その援助方法を学ぶ。 実習：口腔ケア ・排泄の生理と習慣を知り、その援助方法と看護者の役割を知る	a: 食事介助・口腔ケア・排泄介助の知識と技術を身に付けている b:食事・口腔の清潔・排泄介助の意義について考えを深めることができ、生命活動に寄り添った看護を考えることができる。 c: 食事・口腔の清潔・排泄について関心をもち、生命活動について意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 小テスト 実技テスト	プリント 発表	授業観察
2	応急処置	・包帯法の目的、留意点、包帯の巻き方の種類などを学ぶ ・温度刺激の人体への影響、罨法の目的、種類などを学ぶ 実習：包帯法、罨法	a: 包帯法・罨法を安全に行う技術を身に付けている。包帯法、罨法の手順について、正しい知識を身に付けている。 b: 包帯法・罨法のより良い実施方法について考えを深めることができる。 c: 包帯法・罨法について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 小テスト 実技テスト	プリント	授業観察
	与薬	・薬の種類と人体への影響についての基礎 ・与薬の方法、留意点	a: 薬理学について、正しい知識を身に付けている b:。与薬の重要性について考えを深めることができる。 c: 薬について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 小テスト	プリント	授業観察

2	救急処置	・救急処置の基礎、方法、留意点 ・心配蘇生法 実習：心配蘇生法	a: 救急処置の基礎・実施方法について、正しい知識を身に付けている b: 救急処置の方法や必要な場面について考えを深めることができる c: 救急処置について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 小テスト 実技テスト	プリント 発表	授業観察
	検査・診断と看護	・身体計測の目的と方法 ・検査について知る。 また、検査に関わる職業について知る。 実習：身体計測	a: 身体計測を正確に行うための知識・技術を身に付けている。 b: 正しい身体計測の必要性や方法について考えを深めることができる c: 身体計測や検査が看護の場面でどのように行われているかに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている	定期考査 小テスト	プリント 発表	授業観察
3	活動・運動、患者との人間関係	車椅子の操作,移動 実習：車椅子体験 病院内で起こりうる事故とその予防・対策 ・看護における患者との関係	a: 車いす介助、院内で起こりうる事故についての知識を身につけ、予防策を考えることができる。適切なコミュニケーションについての技能を身につけている。 b: 安全な車いすでの移動について考えを深めることができる。患者に求められる看護師とは何かを考えることができている。 c:看護師として働く姿を想像し、自身のコミュニケーション方法を振り返ることができる。	定期考査 小テスト 実技テスト	プリント	授業観察 プリント
	無菌法と院内感染予防の援助	・無菌法の目的,方法 実習:ガウンテクニック ・褥瘡の予防	a:無菌法や院内で起こりうる感染症について正しい知識を身につけ、予防策を考えることができる。 b:無菌法の必要性について考えを深めることができる。 c: 無菌法の手順について関心をもち、院内感染の防止の重要性を理解し学習に取り組もうとしている	定期テスト 小テスト 実技テスト	プリント	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度